

大会関連行事 大会第1日（6月9日（金））

開始	終了	ワーキンググループ	機器展示
15:00		ワーキンググループ	会場設営可能
		石造文化財の保存修復ワーキンググループ 代表：石崎武志	
		東アジア文化遺産保存学会 日本支部 代表：今津節生	
		トレハロース含浸処理法実践研究会 代表：伊藤幸司	
16:00	18:00	彩色材料分析ワーキンググループ 代表：早川泰弘	
		出土金属製遺物の特性と化学分析の諸問題 代表：田村朋美	
		土器科学分析研究会 代表：宮田佳樹	
		古環境（動・植物利用と生業・農耕環境、それらの自然素材の分析保存手法） 代表：金原正明	

口頭発表 第1日 大会第2日(6月10日(土))

開始	終了	頁	A会場[本館407]
9:00			会場受付開始
10:00	10:18		開会挨拶、連絡、移動
探査	10:18	10:36	A-01 チャルチュエバ遺跡群カサ・ブランカ遺跡における地中レーダ探査(その2) ○野村成宏(株式会社田中地質コンサルタント)、田中謙次(株式会社田中地質コンサルタント)、伊藤伸幸(名古屋大学)
	10:36	10:54	A-02 X線CTスキャナの活用による遺跡で発見される豊富な遺物情報を得る調査(IV) -福岡県春日市須玖岡本遺跡出土甕棺の内部情報抽出と記録- ○加藤和歳(九州歴史資料館)、小林啓(九州歴史資料館)、村上浩明(株式会社とっぺん)、輪田慧(合同会社2bit)、吉田佳広(春日市教育委員会)
		10:54	11:12
11:12	11:30	A-04 文化財の国内長距離輸送時の各輸送工程において発生した加速度の評価 ○和田浩(東京国立博物館)、宮地鼓(苫小牧市美術博物館)	
11:30	13:00		休憩、企業セミナー(11:30~12:30)、評議委員会(12:00~13:00)
13:00	14:00		ポスター会場(本館1階ラウンジ)にてポスター解説
保存科学	14:00	14:18	A-05 韓国潭陽開仙寺址石燈の非破壊損傷度評価 ○荒木徳人(公州大学校文化財保存科学)、安有彬(同)、李讚熙(同)
	14:18	14:36	A-06 アンコール遺跡バイヨン寺院浮き彫りの保存材料に関する研究(5) -太陽熱を利用した地衣類のクリーニング- ○河崎衣美(筑波大学)、原光二郎(秋田県立大学)、松井敏也(筑波大学)、澤田正昭(東北芸術工科大学)、井上才八(アイ・エヌ・テクニカルラボ)、海老澤孝雄(ざえとス)
	14:36	14:54	A-07 INAX ライブミュージアム「窯のある資料館」における保存環境と塩類析出に関する調査 ○佐々木淑美(東北芸術工科大学)、犬塚将英(東京文化財研究所)
	14:54	15:12	A-08 水蒸気移動による出土鉄製文化財の新規脱塩法の開発(その2) 腐食の抑制に対する効果の検討 ○柳田明進(奈良文化財研究所)、脇谷草一郎(同)、高妻洋成(同)
	15:12	15:30	A-09 酸素の供給条件の異なる水中で保管した現生および出土木材試料の劣化 ○松田和貴(奈良文化財研究所)、脇谷草一郎(同)、高妻洋成(同)
15:30	15:40		休憩
保存科学	15:40	15:58	A-10 積雪寒冷地の遺構内の融雪水の浸透に関する観測と解析 ○石崎武志(東北芸術工科大学)、澤田正昭(東北芸術工科大学)、濱松優介(青森県)
	15:58	16:16	A-11 組積造建造物の塩類風化予測モデルの開発 -レンガの塩溶液吸水・蒸発実験による移動特性の把握- ○水谷悦子(京都大学大学院)、小椋大輔(京都大学大学院 工学研究科)、石崎武志(東北芸術工科大学)、安福勝(近畿大学)、佐々木淑美(東北芸術工科大学)
	16:16	16:34	A-12 大分市高瀬石仏の保存環境評価~その1)現状の概要と分析 ○奥田史司(近畿大学)、安福勝(近畿大学)、脇谷草一郎(奈良文化財研究所)、小椋大輔(京都大学)、桐山京子(京都大学)、高取伸光(京都大学)
	16:34	16:52	A-13 大分市高瀬石仏の保存環境評価~その2)熱・水分移動の数値解析 ○安福勝(近畿大学)、奥田史司(近畿大学)、脇谷草一郎(奈良文化財研究所)、小椋大輔(京都大学)、桐山京子(京都大学)、高取伸光(京都大学)
17:30			バスで駅前へ(帰りの方)
18:00			バスで懇親会会場へ(懇親会参加の方)
18:30			懇親会(山形国際ホテル)

口頭発表 第1日 大会第2日 (6月10日(土))

開始	終了	頁	B会場[本館408]
9:00			会場受付開始
10:00	10:18		A会場にて開会挨拶、連絡、移動
産地	10:18	10:36	B-01 Sr 同位体比による日本出土古代ガラスの産地推定の試み ○田村朋美(奈良文化財研究所)、申基澈(総合地球環境学研究所)
	10:36	10:54	B-02 山口県を中心とした鉱山・遺跡資料の高精度鉛同位体比分析 ○齋藤努(国立歴史民俗博物館)、今岡照喜(山口大学)、高橋照彦(大阪大学)、田中晋作(山口大学)
	10:54	11:12	B-03 XRF、ESR 法による滑石・緑泥石片岩製玉類の産地分析 ○藁科哲男(遺物材料研究所)
古環境	11:12	11:30	B-04 中国、日本における初期水田の機能と環境、栽培植物 ○金原正明(奈良教育大学)、岡田憲一(奈良県立橿原考古学研究所)、杉山真二(株式会社古環境研究センター)、金原正子(一般社団法人文化財科学研究センター)
	11:30	13:00	休憩、企業セミナー(11:30~12:30)、評議委員会(12:00~13:00)
	13:00	14:00	ポスター会場(本館1階ラウンジ)にてポスター解説
年代測定	14:00	14:18	B-05 院政期書写とされる仮名古筆切の ¹⁴ C年代—伝藤原行成筆未詳散らし歌切および伝源俊頼筆民部切を例に— ○小田寛貴(名古屋大学宇宙地球環境研究所)、池田和臣(中央大学文学部)
	14:18	14:36	B-06 古建築部材 ¹⁴ C短年輪3点ウィグルマッチ法について ○中尾七重(武蔵大学)、坂本稔(国立歴史民俗博物館)
	14:36	14:54	B-07 考古地磁気データベースの現状 ○畠山唯達(岡山理科大学情報処理センター)、渋谷秀敏(熊本大学大学院自然科学研究科)
	14:54	15:12	B-08 高解像度X線CT画像マッピングを応用した放射性炭素ウィグルマッチ法と年輪年代法の併用による金光寺宝篋印塔の年代測定 ○大河内隆之(奈良文化財研究所)、狭川真一(元興寺文化財研究所)、木沢直子(元興寺文化財研究所)、早瀬亮介(株式会社加速器分析研究所)
	15:12	15:30	B-09 土器残存有機物を用いた古食性復元—田螺山遺跡を例として— ○宮田佳樹(金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 ペンチャービジネスラボラトリー)、西田泰民(新潟県立歴史博物館)、堀内晶子(東京大学総合研究博物館)、吉田邦夫(東京大学総合研究博物館)、中村慎一(金沢大学人間社会研究域)
	15:30	15:40	休憩
文化財防災	15:40	15:58	B-10 熊本城における余震記録に基づく地震時地盤挙動特性 ○岩崎好規(地域地盤環境研究所)、福田光治(大成ジオテック)、竹本哲也(阪神コンサルタンツ)、土田琴世(阪神コンサルタンツ)、鈴木恵三(阪神コンサルタンツ)
	15:58	16:16	B-11 被災文化財のデジタルデータベース化—陸前高田市立博物館被災剥製・動物遺存体標本を中心として— ○富岡直人(岡山理科大学)、江川達也(岡山理科大学)、熊谷賢(陸前高田市立博物館)
	16:16	16:34	B-12 岡山洪水被災文化財の研究—1934年室戸台風被災ホーロー看板を中心として— ○江川達也(岡山理科大学)、富岡直人(岡山理科大学生物地球学部)、野田繭子(岡山県立博物館)、内池英樹(岡山県立博物館)、岡本泰典(古代吉備文化財センター)、山口一裕(岡山理科大学理学部)
	16:34	16:52	B-13 福島県清戸迫横穴の高精細3次元計測—原発事故帰還困難区域所在文化財の保全と活用— ○藤沢敦(東北大学総合学術博物館)、鹿納晴尚(東北大学総合学術博物館)、吉野高光(双葉町教育委員会)、小池雄利亜(株式会社シン技術コンサル)
	17:30		バスで駅前へ(帰りの方)
	18:00		バスで懇親会会場へ(懇親会参加の方)
	18:30		懇親会(山形国際ホテル)

ポスター発表・関連行事 大会第2日（6月10日（土））

開始	終了	ポスター	企業セミナー	機器展示		
9:30		ポスター展示作業		株式会社アルゴ エクスロン・インターナショナル（株） 大塚オーミ陶業株式会社 ケイエルブイ株式会社 光明理化学工業株式会社 （公）高輝度光科学研究センター 株式会社サビア 株式会社島津製作所 株式会社シン技術コンサル 株式会社ニコインステック 株式会社バスコ 株式会社林原 ピーエス株式会社 富士シリシア化学株式会社 株式会社三ツワフロンテック Beta Analytic Inc. (順不同)		
10:00	10:18					
10:18	10:36					
10:36	10:54					
10:54	11:12					
11:12	11:30					
11:30	13:00				企業セミナー（11:30～12:30）	
13:00	14:00				ポスター解説	大塚オーミ陶業株式会社 エクスロン・インターナショナル（株） （公）高輝度光科学研究センター
14:00	14:18					
14:18	14:36					
14:36	14:54					
14:54	15:12					
15:12	15:30					
15:30	15:40					
15:40	15:58					
15:58	16:16					
16:16	16:34					
16:34	16:52					
17:30						
18:00						
18:30						

口頭発表 第2日 大会第3日(6月11日(日))

	開始	終了	頁	A会場[本館407]
文化財科学一般	9:30	9:48	A-14	遺物のデジタル三次元計測法の比較検討 ○金田明大(奈良文化財研究所)、山口欧志(同)、中村亜希子(同)、石松智子(同)、八尾純子(同)
	9:48	10:06	A-15	土器圧痕の超適応的な三次元デジタルレプリカ法 ○山口欧志(奈良文化財研究所)
	10:06	10:24	A-16	美術工芸品におけるサンプリングの現状と課題 ○大西智洋(大西漆芸修復スタジオ)、松井敏也(筑波大学)、塚田全彦(東京藝術大学)
	10:24	10:30		休憩、移動
	10:30	11:30		日本文化財科学会2017年度 総会
	11:30	13:00		休憩、企業セミナー(11:30~12:30)、各種会合(12:00~13:00)
	13:00	14:00		ポスター会場(本館1階ラウンジ)にてポスター解説
文化財科学一般	14:00	14:18	A-17	化学分析に基づく遺跡出土馬の食性復元 ○覚張隆史(金沢大学)、植月学(山梨県立博物館)、青柳泰介(榎原考古学研究所)、丸山真史(東海大学)
	14:18	14:36	A-18	韓国泰安郡馬島の海域から出水された陶磁器の組成分析と脱塩特性に関する研究 ○李圭蕙(公州大学校文化財保存科学科)、李讚熙(同)
	14:36	14:54	A-19	加熱とデンプン粒の変化 ○西田泰民(新潟県立歴史博物館)
	14:54	15:12	A-20	土器付着用を用いた擦文文化の食性分析 ○國木田大(東京大学)、高瀬克範(北海道大学)、熊本俊朗(東京大学)、松崎浩之(東京大学)
	15:12	15:20		休憩
文化財科学一般	15:20	15:38	A-21	タイ国、世界遺産・アユタヤ遺跡の総合的保存、活用施策 ○西浦忠輝(関西大学国際文化財・文化研究センター)、友田正彦(東京文化財研究所 文化遺産国際協力センター)
	15:38	15:56	A-22	アンコール時代における東王道沿いでの石材の供給 ○内田悦生(早稲田大学理工学術院)、桜井雄一朗(同)、杜睿(同)、山本真吾(同)
古環境	15:56	16:14	A-23	縄文・弥生時代出土鱗茎の同定方法の開発と利用例 ○佐々木由香(明治大学黒耀石研究センター/パレオ・ラボ)、米田恭子(パレオ・ラボ)、小林和貴(東北大学)
	16:14	16:20		休憩
	16:20	16:30		閉会挨拶
	17:00			バスで駅前へ

口頭発表 第2日 大会第3日(6月11日(日))

開始	終了	頁	B会場[本館408]	
材料・技法	9:30	9:48	B-14	江戸時代の絵入り本を中心とした上方刊本と江戸刊本とに使われた用紙の分析 ○江南和幸(龍谷大学)、徐小潔(東洋文庫)、岡田至弘(龍谷大学)、中尾靖(中尾書店)
	9:48	10:06	B-15	錫を装飾に用いた古墳出土鉄製品の新事例 ○比佐陽一郎(福岡市埋蔵文化財センター)
	10:06	10:24	B-16	復元土器の水平割口の出現頻度による粘土紐接着強度の定量化 ○小林正史(北陸学院大学)
	10:24	10:30		休憩、移動
10:30	11:30		A会場にて日本文化財科学会2017年度 総会	
11:30	13:00		休憩、企業セミナー(11:30~12:30)、各種会合(12:00~13:00)	
13:00	14:00		ポスター会場(本館1階ラウンジ)にてポスター解説	
材料・技法	14:00	14:18	B-17	船原古墳遺物埋納坑出土鉄釘に付着した有機質の観察による埋納容器の想定復元 ○小林啓(九州歴史資料館)、加藤和歳(九州歴史資料館)、岩橋由季(古賀市教育委員会)、甲斐孝司(古賀市教育委員会)、森下靖士(古賀市教育委員会)、横田義章(古賀市教育委員会)、輪田慧(合同会社2bit)、村上浩明(株式会社とっぺん)
	14:18	14:36	B-18	長崎県壱岐市出土ガラス小玉の化学組成分析 —日本—大陸間のガラス交易に関する一考察— ○村串まどか(東京理科大学理学部)、今井藍子(東京理科大学理学部)、新井沙季(東京理科大学理学部)、片多雅樹(長崎県埋蔵文化財センター)、田中聡一(壱岐市教育委員会)中井泉(東京理科大学理学部)
	14:36	14:54	B-19	博多遺跡群出土埴塼の利用方法について ○杵名貴彦(国立科学博物館)、比佐陽一郎(福岡市埋蔵文化財センター)
	14:54	15:12	B-20	炭素・窒素安定同位体比分析による中国長江流域の大型哺乳類の種同定 ○板橋悠(東京大学)、覚張隆史(金沢大学)、孫国平(浙江省文物考古研究所)、菊地大樹(京都大学)、丸山真史(東海大学)、米田穰(東京大学)、中村慎一(金沢大学)
15:12	15:20		休憩	
材料・技法	15:20	15:38	B-21	サーサーン朝におけるガラスの生産および流通に関する研究 —メソポタミア都市遺跡出土ガラス容器の化学組成分析から— ○阿部善也(東京理科大学 理学部)、四角隆二(岡山市立オリエント美術館)、St. John Simpson(大英博物館)
	15:38	15:56	B-22	象嵌線に潜む古墳時代の象嵌技法の顕在化 ○杉崎佐保恵(福島県立博物館)、高橋満(同左)
15:56	16:14			
16:14	16:20		休憩、移動	
16:20	16:30		A会場にて閉会挨拶	
17:00			バスで駅前へ	

ポスター発表、関連行事 大会第3日（6月11日（日））

開始	終了	ポスター	企業セミナー	機器展示
9:30	9:48			株式会社アルゴ エクスロン・インターナショナル（株） 大塚オーミ陶業株式会社 ケイエルビイ株式会社 光明理化学工業株式会社 （公）高輝度光科学研究センター 株式会社サビア 株式会社島津製作所 株式会社シン技術コンサル 株式会社ニコインステック 株式会社バスコ 株式会社林原 ピーエス株式会社 富士シリシア化学株式会社 株式会社三ツワフロンテック Beta Analytic Inc. (順不同)
9:48	10:06			
10:06	10:24			
10:24	10:30			
10:30	11:30			
11:30	13:00		企業セミナー（11:30～12:30）	
13:00	14:00	ポスター解説	株式会社林原 株式会社三ツワフロンテック 株式会社島津製作所	
14:00	14:18			
14:18	14:36			
14:36	14:54			
14:54	15:12			
15:12	15:20	ポスター撤去		
15:20	15:38			機器展示撤収
15:38	15:56			
15:56	16:14			
16:14	16:20			
16:20	16:30			
17:00				

ポスター発表（大会第2日・第3日）

ポスター会場[本館1階ラウンジ]

頁

発表題目 発表者（○講演者）

年代測定	P-1	秋田県戸平川・中屋敷遺跡縄紋柱痕の年代比定 ○小林謙一（中央大学）、木村勝彦（福島大学）、米田穰（東京大学）、高橋学（秋田県埋蔵文化財センター）
	P-2	光ルミネッセンス法による北部パキスタン旧石器遺跡の年代推定 ○下岡順直（立正大学）、野口淳（NPO 法人南アジア文化遺産センター）、Zahir Muhammad (Hazara University)
	P-3	日韓産樹木年輪 ¹⁴ C年代データのIntCal13との比較 ○中村俊夫（名古屋大学宇宙地球環境研究所）、増田公明（名古屋大学宇宙地球環境研究所）、三宅美紗（名古屋大学宇宙地球環境研究所）、箱崎真隆（国立歴史民俗博物館）
	P-4	建造物古材のウィグルマッチングが示す日本産樹木年輪の炭素14年代 ○坂本稔（国立歴史民俗博物館、総合研究大学院大学）、中尾七重（武蔵大学）
古環境	P-5	小氷期と巨大噴火・津波がアイヌ民族に与えた影響 I-北海道伊達市カムイタブコブ下遺跡調査速報- ○添田雄二（北海道博物館）、青野友哉（伊達市噴火湾文化研究所）、永谷幸人（伊達市噴火湾文化研究所）、渋谷綾子（国立歴史民俗博物館）、中村賢太郎（株式会社パレオ・ラボ）、菅野修広（登別市教育委員会）、松田宏介（室蘭市教育委員会）、三谷智広（洞爺湖町教育委員会）、宮地鼓（苫小牧市美術博物館）、渡邊剛（北海道大学院理学研究院）、甲能直樹（国立科学博物館）
	P-6	イネプラント・オパール中に内在する遺伝情報抽出手法の実用化に向けた研究（第1報） ○宇田津徹朗（宮崎大学）、田中克典（弘前大学）、古賀達朗（宮崎大学）
	P-7	良渚遺跡群荀山地区の試掘調査から推定される水田稲作について ○宇田津徹朗（宮崎大学）、田崎博之（愛媛大学）、中村慎一（金沢大学）、劉斌浙（江省文物考古研究所）、王寧遠（浙江省文物考古研究所）、鄭雲飛（浙江省文物考古研究所）
	P-8	東日本における馬給餌の歴史-同位体化学分析による検討- ○植月学（山梨県立博物館）、覚張隆史（金沢大学）
	P-9	イネプラント・オパール中に内在する遺伝情報抽出手法の実用化に向けた研究（第2報） ○田中克典（弘前大学）、宇田津徹朗（宮崎大学）、古賀達朗（宮崎大学）
材質・技法	P-10	ポンペイ遺跡における壁画技法および保存状況調査 ○前川佳文（東京文化財研究所）、マルテッリ・カスタルディ モニカ（スオロ・オルソラ・ベニンカーザ大学（ナポリ））、ポッティチェリ グイド（フィレンツェ国立修復研究所）、フランチェスキエニ ステファアーニャ（保存修復 S.F.）
	P-11	陶磁器の上絵層における有機物分析の試み-赤外放射光分析による焼成に伴う膠成分の変化に関する検討- ○樋口智寛（東京都立産業技術研究センター）、二宮修治（東京学芸大学）、新免歳靖（東京学芸大学）、水本和美（東京藝術大学）
	P-12	放射光X線マイクロCTを用いた松尾大社神像群の樹種調査 ○田鶴寿弥子（京都大学）、杉山淳司（同）
	P-13	植物灰ガラスの多様性と生産地に関する考古学的研究 ○大賀克彦（奈良女子大学）、田村朋美（奈良文化財研究所）
	P-14	蛍光X線分析による天理参考館所蔵 成吉思皇帝聖牌の材質分析 ○青木智史（天理大学附属天理参考館）、阿部善也（東京理科大学）、巽善信（天理大学附属天理参考館）、日野宏（天理大学附属天理参考館）、藤原郁代（天理大学附属天理参考館）、金原正明（奈良教育大学）
	P-15	国宝慈光寺経における真鍮泥の利用 ○早川泰弘（東京文化財研究所）
	P-16	福井市内の遺跡から出土した耳環の自然科学的研究 ○中村晋也（金沢学院大学）、北村彩（金沢学院大学）、田邊朋宏（福井市教育委員会）、河村友佳子（(公財)元興寺文化財研究所）、日高真吾（国立民族学博物館）
	P-17	正倉院宝物の檜和琴状瑠璃に使用された色料の分析 ○鶴真美（宮内庁正倉院事務所）、中村力也（宮内庁正倉院事務所）、成瀬正和（宮内庁正倉院事務所、東北芸術工科大学）
	P-18	デジタルマイクロスコープによる古文書料紙の検討：「総合資料学」における文理融合型研究の試み ○渋谷綾子（国立歴史民俗博物館）
	P-19	高解像度X線CT画像を用いた広葉樹の非破壊樹種同定 ○大河内隆之（奈良文化財研究所）
	P-20	アムステルダム国立美術館における近世絵画の非破壊顔料分析①：絵画分析における可搬型粉末X線回折計の開発および応用 ○平山愛里（東京理科大学理学部）、赤城沙紀（東京理科大学理学部）、阿部善也（東京理科大学理学部）、中井泉（東京理科大学理学部） van Loon Annelies（アムステルダム国立美術館）、Noble Petria（アムステルダム国立美術館）、Janssens Koen（アントワープ大学）

材料・技法	P-21	アムステルダム国立美術館における近世絵画の非破壊顔料分析②：紫外-可視-近赤外光を用いた分光分析 ○赤城沙紀 (東京理科大学理学部)、平山愛里 (東京理科大学理学部)、阿部善也 (東京理科大学理学部)、中井泉 (東京理科大学理学部)、van Loon Annelies (アムステルダム国立美術館)、Noble Petria (アムステルダム国立美術館)、Janssens Koen (アントワープ大学)
	P-22	非破壊分析装置を用いたメソポタミアを中心とする古代西アジア出土銅赤ガラスの製法と変遷の解明 ○日高遥香 (東京理科大学・理学部)、扇谷依李 (東京理科大学・理学部)、阿部善也 (東京理科大学・理学部)、中井泉 (東京理科大学・理学部)、菊川匡 (古代エジプト美術館)、四角隆二 (岡山市立オリエンタル美術館)、St John Simpson (大英博物館)
	P-23	アケメネス朝ペルシアにおけるガラスの生産と製法に関する研究 ○吉田健太郎 (東京理科大学 理学部)、阿部善也 (東京理科大学理学部)、四角隆二 (岡山市立オリエンタル美術館)、菊川匡 (古代エジプト美術館)、巽善信 (天理参考館)、中井泉 (東京理科大学理学部)
	P-24	ウズベキスタン共和国カフィル・カラ遺跡出土織物の調査(2016年度調査結果) ○村上智見 (ロシア国立グラバル芸術保存修復センター)、宇野隆夫 (帝塚山大学)、ベルディムロドフ アムリディン、ボゴモロフ ゲナディー (ウズベキスタン共和国科学アカデミー考古学研究所)、ベグマトフ アリシエル (京都大学)
	P-25	奈良県珠城山三号墳出土馬具の科学的調査～双鳳文杏葉並びに忍冬唐草文鏡板を中心として～ ○大江克己 (奈良国立博物館)、鳥越俊行 (奈良国立博物館)、吉澤悟 (奈良国立博物館)、中川あや (奈良国立博物館)
	P-26	トルコ、カマン・カレホック遺跡出土鉄器時代に属する彩文土器の化学的研究 ○大塚晶絵 (東京理科大学理学部)、阿部善也 (東京理科大学理学部)、中井泉 (東京理科大学理学部)、松村公仁 (アナトリア考古学研究所)、大村幸弘 (アナトリア考古学研究所)
	P-27	中世末の非鉄金属生産に関する科学調査 ー博多遺跡群からの出土遺物についてー ○杓名貴彦 (国立科学博物館)、比佐陽一郎 (福岡市埋蔵文化財センター)
	P-28	北海道内遺跡出土琥珀玉の製作技法について ○植田直見 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、渡邊優子 (日鉄住金テクノロジー株式会社)、鈴木克彦 (弘前学院大学)
	P-29	繊維遺物鑑別のための基礎研究 ー国産の植物繊維の生体鉱物の比較 ○伊藤美香 (昭和女子大学)、小原奈津子 (同)
	P-30	X線CT スキャナを用いた国宝「初音の調度」の構造調査～小櫛箱、乱れ箱、湯桶の構造研究～ ○赤田昌倫 (九州国立博物館)、吉川美穂 (徳川美術館)、川畑憲子 (九州国立博物館)
	P-31	X線CT 観察による縄文時代晩期の藍胎漆器の製作技術研究～東北地方を中心として～ ○片岡太郎 (弘前大学)、上條信彦 (弘前大学)、佐藤信輔 (東北大学大学院文学研究科)、佐々木理 (東北大学総合学術博物館)
	P-32	大聖寺藩上屋敷跡出土漆器の下地調整技法の研究 ○武田昭子 (昭和女子大学)、赤沼英男 (岩手県立博物館)、土谷信高 (岩手大学)
	P-33	飛鳥寺塔心礎跡出土耳環の調査 ○降幡順子 (奈良文化財研究所)、諫早直人 (奈良文化財研究所石)、橋茂登 (飛鳥資料館)
	P-34	材質から考察するキリシタン・南蛮資料の流通と製作技術の変遷 ○稗田優生 (大分県立歴史博物館)、後藤晃一 (同)
	P-35	牽牛子塚古墳出土夾紵棺片の科学調査 ○荻山琴美 (奈良教育大学)、金原正明 (奈良教育大学)、金原裕美子 (一般社団法人文化財科学研究センター)、赤津將之 (奈良教育大学)
	P-36	東京都立向丘高等学校遺跡出土磁器の自然科学的研究ー17世紀の肥前磁器と中国磁器の比較を中心にー ○新免歳靖 (東京学芸大学)、呉曉瓊 (東京学芸大学)、水本和美 (東京芸術大学)、二宮修治 (東京学芸大学)
	P-37	モンゴル匈奴時代の古墳出土顔料の分析研究 (I) ーアルハンガイ県バルカスター遺跡出土の顔料を中心にー ○柳成焜 (奈良大学大学院文学研究科文化財資料学専攻博士後期課程)、メンドバザル オユントルガ (奈良大学大学院文学研究科文化財資料学専攻博士後期課程)、トモルオチル イデルハンガイ (モンゴル国立大学ウランバートルスクール社会学部考古学研究室)、今津節生 (奈良大学文学部文化財学科)
	P-38	近世の文化財建造物に用いられた材料等の科学分析 ○五十嵐佑磨 (明治大学大学院)、北野信彦 (龍谷大学)、成瀬晃司 (東京大学埋蔵文化財調査室)、本多貴之 (明治大学)
	P-39	阿蘇石製石棺に採用された赤色顔料について ○志賀智史 (九州国立博物館)
	産地	P-40
P-41		東京都多摩ニュータウン No. 72・No. 245 遺跡出土縄文土器の岩石鉱物組成からみた原料産地 ○河西学 (帝京大学)、松本建速 (東海大学)、市川慎太郎 (福岡大学)、山本孝司 (東京都埋蔵文化財センター)

産地	P-42	愛知県新城市長篠から出土した鉄砲玉の鉛同位体比 ○渡邊緩子 (日鉄住金テクノロジー株式会社)、小林芳春 (設楽原を守る会)、平尾良光 (帝京大学文化財研究所)
	P-43	ガンマ線スペクトロメトリーの胎土分析法としての有効性の検討 ○小倉頌子 (奈良県立橿原考古学研究所)、青木智史 (天理大学附属天理参考館)、金原正明 (奈良教育大学)
	P-44	山形県内出土黒曜石製石器の原産地推定～北海道産黒曜石の利用解明～ ○安彦政信 (山形考古学会)、渋谷孝雄 (山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館)、佐々木繁喜 (宮城県登米高等学校)
	P-45	関東周辺地域における縄文時代晩期の黒曜石製石器の原産地と技術形態学的検討との比較 ○菅頭明日香 (青山学院大学)、建石徹 (文化庁) 大工原豊 (國學院大學)、新免歳靖 (東京学芸大学)、濱田翠 (東京文化財研究所)、三浦麻衣子 (帝京大学文化財研究所)、犬塚将英 (東京文化財研究所)、二宮修治 (東京学芸大学)
	P-46	愛知県伊川津貝塚出土土人骨の全ゲノム解析 ○覚張隆史 (金沢大学)、太田博樹 (北里大学)
	P-47	新石器時代の長江下流域における移民率の評価 ○覚張隆史 (金沢大学)、岡崎健治 (鳥取大学)、陳傑 (上海博物館宋)、建 (上海博物館)、板橋悠 (東京大学)、米田穰 (東京大学)
	保存科学	P-48
P-49		津波被災紙資料から発生する臭気について—安定化作業中の処理水の分析— ○内田優花 (東京文化財研究所)、佐野千絵 (東京文化財研究所)、赤沼英男 (岩手県立博物館)
P-50		蛍光寿命測定による有機質文化財の経年劣化状態の指標化に関する研究 1 ○佐々木良子 (京都工芸繊維大学)、佐々木健 (同)
P-51		建造物外壁真鍮製金具周辺木部に対する調査：旧岩崎末廣別邸を対象に ○周怡杉 (筑波大学)、松井敏也 (筑波大学)、林田利之 (千葉県富里市教育委員会生涯学習課)
P-52		氷点下における乾燥剤とともに密閉した出土木材の変化(1) —形状と重量の変化— ○中尾真梨子 ((公財)福島県文化振興財団)、奥山誠義 (奈良県立橿原考古学研究所)
P-53		出土木製品保存処理の省コスト・省エネルギー化に向けた研究(その4) —太陽熱集熱含浸処理装置の製作と稼働— ○伊藤幸司 (公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所)、藤田浩明 (公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所)、北村良輔 (株式会社寺田鉄工所)、今津篤生 (奈良大学)
P-54		伝統な鉄再現実験で製鉄原料による鉄塊の材料学的特性 ○Namchul Cho (Department of Cultural Heritage Conservation Science, Kongju National University)、Jae-ung Jeong (同)、Minjee Oh (同)、Chaerin Bae (同)、Hoyoung Kwon (Woosuk Engineering Co.,Ltd)
P-55		PEGの溶出により汚損した出土木筒の修復 —PEGの除去と高級アルコール含浸および真空凍結乾燥による保存処理の再実施— ○松田和貴 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (同)
P-56		氷点下における乾燥剤とともに密閉した出土木材の変化(2) —内部圧力と重量の変化— ○奥山誠義 (奈良県立橿原考古学研究所)、中尾真梨子 (公益財団法人福島県文化振興財団)
P-57		トレハロース含浸処理法の展開—非結晶状態の利用について— ○伊藤幸司 (公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所)、三宅章子 (株式会社林原)、赤田昌倫 (九州国立博物館)
P-58		可搬型X線回折分析装置による煉瓦造文化遺産の塩類析出に関する調査 ○犬塚将英 (東京文化財研究所)、佐々木淑美 (東北芸術工科大学)
P-59		人工劣化による疑似出土木材の調製 2 ○山口繁生 (公益財団法人元興寺文化財研究所)
P-60		金属製品の保存処理に用いる新規樹脂について 2 ○山口繁生 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、山田卓司 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、川本耕三 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、植田直見 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、山岡奈美恵 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、塚本敏夫 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、小杉山大輔 (石岡市教育委員会)
P-61		石造文化財における析出物抑制対策の効果と課題 ○星野玲子 (鶴見大学)、橋本直樹 (逗子市教育委員会)
P-62		土質遺構の保存手法に関する研究 (1) ○李素妍 (鳥取大学)、奥智紀 (同)

保存科学	P-63	特別史跡—乗谷朝倉氏遺跡における劣化対応の経過報告 2 ○藤田若菜 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)、川越光洋 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)、石崎武志 (東北芸術工科大学)、高妻洋成 (国立文化財機構奈良文化財研究所)、山本博文 (福井大学)、杜之岩 (京都大学)
	P-64	和歌山市不老橋の状態調査と保存修理 (1) ○塚本敏夫 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、雨森久輝 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、清水梨代 (和歌山市教育委員会)
	P-65	テラヘルツ波イメージング技術を用いた彩色文化財の界面調査 ○金旻貞 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (同)
	P-66	未処理の出土鉄製品に発生する錆と保管に関する保存科学的研究—錆を活用した指標作成の試み— ○松園菜穂 (別府大学大学院文学研究科)、渡辺智恵美 (別府大学)
	P-67	出土青銅製文化財の保存処理に使用されたアクリル樹脂の劣化について (3) ○植田直見 (公益財団法人 元興寺文化財研究所)、山田卓司 (同)、山口繁生 (同)、田中由理 (同)、塚本敏夫 (同)、川本耕三 (同)
	P-68	アヤ・イリニ聖堂およびカーリエ博物館における塩類析出と保存環境に関する調査 ○佐々木淑美 (東北芸術工科大学)、小椋大輔 (京都大学)、安福勝 (近畿大学)、水谷悦子 (京都大学)、石崎武志 (東北芸術工科大学)
	P-69	法隆寺金堂焼損部収蔵庫における壁画の保存・公開に関する研究 —実測調査と数値解析による収蔵庫内の温湿度の現状の分析— ○小椋大輔 (京都大学)、藤原良輔 (京都大学)、佐野千絵 (東京文化財研究所)、木川りか (九州国立博物館)、和田浩 (東京国立博物館)、吉田直人 (東京文化財研究所)、鉢井修一 (京都大学)
	P-70	元町石仏における覆屋内温湿度調整による塩類風化抑制に関する研究 —数値解析による覆屋の塩類風化抑制効果の評価— ○高取伸光 (京都大学)、小椋大輔 (京都大学)、脇谷草一郎 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)、安福勝 (近畿大学)、桐山京子 (京都大学)、高妻洋成 (独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所)
	P-71	新池埴輪製作遺跡 18 号窯における館内の温熱環境が硫酸塩の挙動に与える影響 ○桐山京子 (京都大学)、○藤井佐由里 (京都大学)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、肥塚隆保 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
	P-72	建造物塗装の劣化に関する研究 —塗膜および木材中の水分について— ○長崎紀子 (京都大学)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)
	P-73	保存処理済み出土木製品の現状調査と PEG 低分子化因子の検討 ○米村祥央 (東北芸術工科大学)
	P-74	ハギア・ソフィア大聖堂の壁体内蓄積塩と周辺大気降下物中のイオン成分分析 ○水谷悦子 (京都大学大学院工学研究科)、小椋大輔 (京都大学大学院工学研究科)、石崎武志 (東北芸術工科大学)、安福勝 (近畿大学)、佐々木淑美 (東北芸術工科大学)
	P-75	キトラ古墳壁画搬送時の熱・水分環境評価 ○脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所)、柳田明進 (奈良文化財研究所)、金旻貞 (奈良文化財研究所)、和田浩 (東京国立博物館)、建石徹 (文化庁)、宇田川滋正 (文化庁)
	P-76	遺跡出土の編みかごの保存処理方法の研究 ○金原裕美子 (一般社団法人文化財科学研究センター)、田中友貴恵 (同)
	P-77	奈良国立博物館所蔵 地藏菩薩坐像・竜樹菩薩坐像の X 線 CT 調査 ○鳥越俊行 (奈良国立博物館)、楠井隆志 (九州国立博物館)、赤田昌倫 (九州国立博物館)、岩田茂樹 (奈良国立博物館)、岩井共二 (奈良国立博物館)、山口隆介 (奈良国立博物館)、大江克己 (奈良国立博物館)、今津節生 (奈良大学)
	P-78	出土琥珀の保存処理に用いる溶剤の再検討 ○安木由美 (奈良大学大学院)、今津節生 (奈良大学)
	P-79	遺物変色特性評価のための LED 加速老化実験研究 ○Daiill KANG (Korea National University of Cultural Heritage)、Jiwon KIM (Graduate School of Convergence Cultural Heritage、Korea National University of Cultural Heritage)、Hwasoo LEE (Chungbuk National University)、Minjung Park、Yujeong Lee (Korea National University of Cultural Heritage) Jaehyoung RYU、Jinhwan LEE (Korea Institute of Lighting Technology)
	P-80	Physical-chemical characterization of the five-storied tower building in Unheung-dong, Korea ○李相沃 (韓国伝統文化大学校)、Kwang Yong Chung (同)、Go Woon Bae (同)、Hum Namgung (同)、Jesun Baek (同)
文化財科学一般	P-81	奈良絵本で用いられている銅系顔料の X 線光電子およびオージェ電子スペクトル ○藤原学 (龍谷大学)、高橋瑞紀 (同)、松中岩男 (同)、永瀬源太 (同)
	P-82	装飾古墳における Sfm の活用 ○福田匡朗 (熊本県立装飾古墳館)、木村龍生 (同)
	P-83	西山光照寺跡名号石碑の三次元計測 ○岡本篤志 (大手前大学史学研究所)、藤田若菜 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)、熊谷透 (福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館)

P-84	熊本地震前後の装飾古墳の石室環境 ○福田匡朗 (熊本県立装飾古墳館)、坂口圭太郎 (熊本県立装飾古墳館)、小椋大輔 (京都大学)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)
P-85	3D スキャナー及び 3D プリンターの文化財分野での活用についての検証—七宝山神恵院観音寺所蔵扁額のレプリカ制作をととして— ○河村友佳子 ((公財) 元興寺文化財研究所)、日高真吾 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、寺村裕史 (国立民族学博物館)、末森薫 (国立民族学博物館)、和高智美 (文化創造巧芸)、橋本沙知 ((公財) 元興寺文化財研究所)
P-86	白色 LED 光が蛍光性文化財材料の色彩に与える影響について ○吉田直人 (東京文化財研究所)、石井恭子 (同)
P-87	東北地方北部の弥生時代における土器付着物を用いた食性分析 ○國木田大 (東京大学)、根岸洋 (国際教養大学)、井上雅孝 (滝沢市埋蔵文化財センター)、武田嘉彦 (田舎館村教育委員会)、東海林心 (弘前市教育委員会)、五十嵐祐介 (男鹿市教育委員会)、西村広経 (八戸市埋蔵文化財センター)、松崎浩之 (東京大学)
P-88	伝統的修復部材である「ガンゼキ」を用いた装飾古墳の修復の試み～熊本県山鹿市所在・国史跡オブサン古墳における使用例～ ○坂口圭太郎 (熊本県立装飾古墳館)、脇谷草一郎 (奈良文化財研究所)、福田匡朗 (熊本県立装飾古墳館)
P-89	民族・民俗資料を対象とした光学調査の応用事例—チベット版木に刻まれた文字の可視化と変退色した春日地蔵講所蔵絵馬の図案復元 ○末森薫 (国立民族学博物館)、園田直子 (国立民族学博物館)、日高真吾 (国立民族学博物館)、長野泰彦 (国立民族学博物館)、河村友佳子 (元興寺文化財研究所)、橋本沙知 (元興寺文化財研究所)、和高智美 (文化創造巧芸)、藤井裕之 (吹田市立博物館)
P-90	赤外線画像を使った彩色材料の面的調査 ○秋山純子 (九州国立博物館)、三好賢子 (香川県立ミュージアム)、高木敬子 (香川県立ミュージアム)
P-91	遺跡周辺の湧水のフッ素濃度と火山との関連性 ○青野友哉 (伊達市噴火湾文化研究所)、米田穰 (東京大学総合博物館)、澤田純明 (新潟医療福祉大学)
P-92	環日本海沿岸の完新世海面上昇期における土器の用途 ○庄田慎矢 (国立文化財機構奈良文化財研究所、ヨーク大学考古生化学研究所)、アレクサンドル リュキャン (ヨーク大学考古生化学研究所)、西田泰民 (新潟県立博物館)、安在皓 (東京大学考古美術史学科)、黄喆周 (三韓文化財研究院)、西田巖 (佐賀市教育委員会)、三原裕姫子 (由利本荘市教育委員会)、クレイグ オリバー (ヨーク大学考古生化学研究所)
P-93	蛍光 X 線分析を用いたアイヌ文化期の遺跡出土ガラスの考古化学的研究 ○新井沙季 (東京理科大学理学部)、馬場慎介 (東京理科大学理学部)、中村和之 (函館高等専門学校)、塚田直哉 (上ノ国町教育委員会)、中井泉 (東京理科大学理学部)
P-94	Sr 同位体比と科学的手法による近世漆器の材料と産地の推定—螺鈿を対象とした— ○中川理夢 (明治大学大学院理工学研究科)、本多貴之 (明治大学理工学部)、中井俊一 (東京大学地震研究所)、宮里正子 (浦添市美術館)
P-95	漆塗膜分析における人の表皮由来の油が与える影響の検討 ○高橋慎一 (明治大学大学院理工学研究科)、本多貴之 (明治大学理工学部)
P-96	欧州で製作された模造漆器に使用された材料の科学分析 ○出居宗一郎 (明治大学大学院理工学研究科)、本多貴之 (明治大学理工学部)
P-97	観察条件 (乾燥、加水) の違いによる紙繊維表面形状の変化 ○坂本昭二 (龍谷大学)
P-98	宋版經典用紙の分析 2 ○坂本昭二 (龍谷大学)、小田寛貴 (名古屋大学宇宙地球環境研究所)、安裕明 (茨城県立多賀高等学校)
P-99	平城京跡出土木簡の年輪年代学的手法による同一材の推定 —「皇」「太子」削屑の事例を中心に— ○星野安治 (奈良文化財研究所)、山本祥隆 (同)
P-100	化学組成と鉛同位体比による日本出土アルカリケイ酸塩ガラスの起源推定 ○今井藍子 (東京理科大学・理学部)、柳瀬和也 (同)、中井泉 (同)
P-101	3次元デジタルデータを用いた脆弱な有機質遺物の安定台作製—雪野山古墳出土靱を事例として— ○塚本敏夫 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、山田哲也 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、岡田一郎 (公益財団法人元興寺文化財研究所)、福田由里子 (東近江市教育委員会)、横須賀倫達 (文化庁)
P-102	神奈川県三浦市間口洞窟遺跡出土骨角器の修復事例報告 ○石原道知 (武蔵野文化財修復研究所)、千葉毅 (神奈川県立歴史博物館)、高橋健 (横浜市歴史博物館)
P-103	質量分析による遺跡出土鳥類骨同定のための基礎的研究 ○江田真毅 (北海道大学総合博物館)、泉洋江 (同)
P-104	石造物のデジタルドキュメンテーションと活用 ○山口欧志 (奈良文化財研究所)、金田明大 (同)、中村亜希子 (同)、石松智子 (同)

文化財科学一般	P-105	何がみえるのか？－土器製作痕跡へのSfM/RTIの試行 ○金田明大（奈良文化財研究所）、中村亜希子（同）、石松智子（同）
	P-106	平城宮出土瓦基準資料の三次元デジタルデータベース構築に向けて ○山口欧志（奈良文化財研究所）、中村亜希子（同）、石松智子（同）、金田明大（同）
	P-107	前期青銅器時代のシリア Tell Rumeilah の墓群に残された土器の残留有機物分析 ○堀内晶子（東京大学総合研究博物館タンデム加速器分析室）、下釜和也（古代オリエント博物館）、久米正吾（東京芸術大学）、吉田邦夫（東京大学総合研究博物館）、宮田佳樹（金沢大学）
	P-108	板木から見た職人技の解明 ○安藤真理子（同志社大学文化遺産情報科学研究センター）
	P-109	弥生時代前期/中期境界の文化財科学的研究－長岡京域地震液状化イベントモデル・ステージ E2 (2200yB.P. ～)における人間活動と地形・水文環境変動－ ○中塚良（公益財団法人向日市埋蔵文化財センター）、中村賢太郎（パレオ・ラボ）、矢野健一（立命館大学）、辻本裕也（パリオ・サーヴェイ）
探査	P-110	葛籠尾崎湖底遺跡の地形測量 ○矢野健一（立命館大学）、佐々木蘭貞（九州国立博物館）、島田伸敬（立命館大学）、川村貞夫（立命館大学）
文化財防災	P-111	東日本大震災を契機に開発した『津波の記憶を刻む文化遺産「寺社・石碑」データベース』の可能性 ○日高真吾（国立民族学博物館）、吉田憲司（国立民族学博物館）、丸川雄三（国立民族学博物館）、寺村裕史（国立民族学博物館）、末森薫（国立民族学博物館）、和高智美（合同会社文化創造巧芸）
	P-112	段ボール製一時保管箱の温湿度挙動とその効果 ○栗本康司（秋田県立大学木材高度加工研究所）、片岡太郎（弘前大学）、松井敏也（筑波大学）
	P-113	学校を利用した収蔵施設の維持管理に関する一考察－宮城県気仙沼市旧月立中学校収蔵施設の事例から ○和高智美（合同会社文化創造巧芸）、日高真吾（国立民族学博物館）、末森薫（国立民族学博物館）、川越和四（環境文化創造研究所）、福田尚（イカリ消毒株式会社）、幡野寛治（気仙沼市教育委員会）
	P-114	国指定文化財12城の地震ハザードカルテによる危険度評価 ○二神葉子（東京文化財研究所）、隈元崇（岡山大学）